

# アジアでのパリ協定の準備・実施状況の調査と強化への働きかけ

〒173-0037  
東京都板橋区小茂根1-21-9  
電話:03-6909-5983  
E-mail:info@foejapan.org  
http://www.foejapan.org/



ひろげる助成

1年目

調査研究



COPの場で脱石炭アクション

イベントへの参加人数	120人
COP期間中の情報発信	5回
今年度計画の達成度	90%
活動の全体目標に対する達成度	30%

## 苦労した点と工夫した点



### ■ 苦労した点

アジア太平洋の市民団体との共同レポートの作成にあたり、コミュニケーションや編集に苦労した。

### ■ 工夫した点

複雑な国際交渉の内容に関して、短い解説を動画にして、FacebookなどのSNSを通じ発信した。

### 課題

各国が掲げている削減目標を積み上げてパリ協定の1.5度目標には届かず、とくに途上国では資金や技術が不足しているため、早急な目標強化と途上国支援が必要。

### 目標

アジア諸国の国別目標が強化され、パリ協定の1.5度目標達成に近づくこと。

### 活動内容と成果

●アジア太平洋における気候変動影響調査を行い、その成果をもとに気候変動の緊急性を訴え、対策強化を働きかけた。インドネシア、パプアニューギニアを調査し、COP(気候変動枠組条約締結国会議)に合わせてレポートを

発表した。●アジア太平洋の市民社会と意見交換を行い国別目標(NDC)の問題点やニーズについて議論した。●国連気候変動交渉に参加し、議論の最新動向の調査や提言活動を行った。●気候変動資金に関する調査提言を行い、GCF(緑気候基金)に関しては外務省やJICAとも意見交換を行った。



パプアニューギニアでアジアのNGOと会合

### 今後の展望

今年IPCC(気候変動における政府間パネル)の1.5度レポートの発表、促進的対話実施等、重要なタイミングである。途上国支援には気候資金が不可欠であることから、気候資金のさらなる調査、特に気候変動「難民」に焦点をあて活動する。